

豊田通商が養成したクロマグロを「近大マグロ」に認定！ ～2020年には供給量、現在の3倍(240トン 6000尾)へ～

学校法人近畿大学(以下、近畿大学)は、豊田通商株式会社(以下、豊田通商)が養成したクロマグロを「近大マグロ」に認定致します。

近畿大学は2010年から豊田通商とクロマグロ中間育成事業において業務提携し、世界初のクロマグロ養殖技術を継承するため、技術面での指導およびパートナーシップを強化してきました。

また、本年7月には、水産養殖事業推進に関する覚書を締結し、養殖クロマグロの種苗生産のさらなる安定供給と量産化に向け、取り組んでおります。

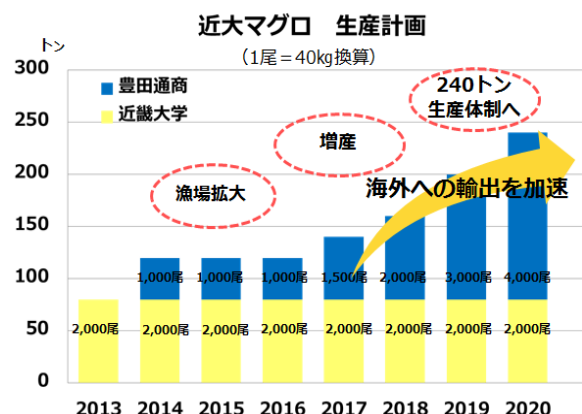
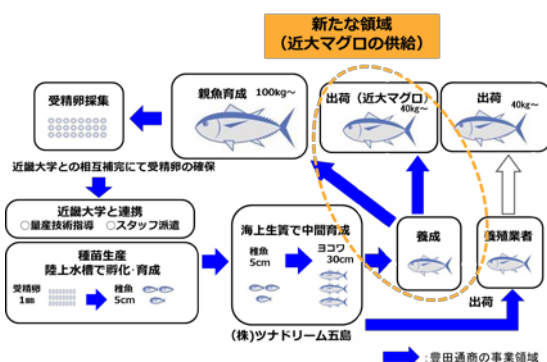
このたび、近畿大学の指導の下、2010年から豊田通商が養成したクロマグロが高品質であり、近畿大学直営料理店で実施したお客さまへのアンケート調査で、高い評価を得たため、「近大マグロ」に認定することと致しました。

なお、近畿大学以外の施設で養殖されたクロマグロを「近大マグロ」に認定することは、初めてです。これにより、「近大マグロ」の供給量は1.5倍に増加し、2020年には現在の3倍の供給量を目指します。

<本件のポイント>

- 初めて、近畿大学以外の施設で養殖されたクロマグロを「近大マグロ」に認定
- 「近大マグロ」の供給量は1.5倍に(80トン/2,000尾→120トン/3,000尾へ)
2020年には、現在の3倍となる供給量(240トン/6,000尾)を目指す
- ブランド価値をさらに高めるため「近大マグロ」のブランドマークを制定
- 初出荷は近畿大学水産研究所銀座店開店1周年となる12月4日(木)～12月8日(月)に
「近大マグロづくし御膳」として提供予定(限定20食/日)

■展開するビジネスと近大マグロの生産計画について



■認定基準について

近畿大学と豊田通商は、豊田通商が運営するツナドリーム五島において2010年の業務提携により漁場やエサの選定から飼育方法・出荷に至るまで、近畿大学水産研究所と統一したノウハウを蓄積してきました。

さらに、近畿大学ならびにアーマリン近大が運営する養殖魚専門料理店「近畿大学水産研究所」にて約1,000人のお客さまにアンケート調査※を実施し、豊田通商が養成したクロマグロが、味、見た目について8割を超えるお客さまから高い評価を得ました。

※アンケート調査について

実施期間 : 2014年11月2日(日)～2014年11月5日(水) ランチ・ディナータイム
アンケート方法: 「近畿大学水産研究所」大阪グランフロント店舗、銀座店の来店者にアンケート用紙を渡し、記入形式で実施
アンケート総数: 1019件
アンケート項目: 1. 性別、年齢 2. 味、見た目 / 5段階評価(非常に良い～非常に悪い)
調査結果 : 味について / 81.7%(非常に良い・良い)
見た目について / 80.4%(非常に良い・良い)
近大マグロと比較して / 味) 77.9%(非常に良い・良い・同じ)
見た目) 80.4%(非常に良い・良い・同じ)

■豊田通商が養成したクロマグロ(成魚)について

(これまでの経緯)

2010年7月 近畿大学とクロマグロ中間育成事業で提携
株式会社ツナドリーム五島設立(世界初となるクロマグロ中間育成事業)

2014年7月 近畿大学と水産養殖事業推進に関する覚書締結
株式会社ツナドリーム五島種苗センター設立
(世界初となる産学連携によるクロマグロ人工種苗生産事業)

豊田通商(株式会社ツナドリーム五島)は今後、漁場の拡大や生産の効率化を図ることで近畿大学が生産する「近大マグロ」とあわせ、2020年には現在の3倍量となる約240トン(6,000尾)の生産量を目指しております。(人工種苗養殖クロマグロとしては、国内最大級の生産規模)

今後は、従来から取り組んでいる養殖クロマグロの中間育成および人工種苗生産事業と併せ、近畿大学の養殖技術で作り上げた持続可能な養殖魚である「近大マグロ」を、国内のみならず世界へ販売することも視野に入れてまいります。

■「近大マグロ」のブランドマーク策定

今後、「近大マグロ」のブランドイメージの向上を図るべく「近大マグロ」のブランドマークを策定しました。

クロマグロの姿をシンプルにデザインし、高品質な近大マグロを工業製品のように安定して量産化するイメージと養殖技術の進歩を表現しました。

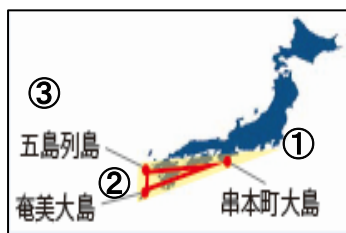
また、英語表記を併記することで世界を視野に入れた事業推進への意気込みも掲げました。

今後は、このブランドマークで世界進出へ本格的に取り組んでまいります。



■「近大マグロ」生産拠点

近畿大学水産研究所の和歌山県串本、鹿児島県奄美大島に豊田通商の長崎県五島が加わり、国内3拠点にて「近大マグロ」の生産を行います。



- ① 近畿大学 水産研究所 大島実験場
- ② 近畿大学 水産研究所 奄美実験場
- ③ 株式会社ツナドリーム五島（豊田通商 100%子会社）

■豊田通商が養成した「近大マグロ」の初出荷について

近畿大学が運営する養殖魚専門料理店「近畿大学水産研究所」銀座店の開店1周年にあたる本年12月4日(木)から、同店舗および1号店であるグランフロント大阪店舗にて、認定された「近大マグロ」をふんだんに使用したスペシャルランチ御膳を、12月8日(月)まで各日限定20食販売致します。

近大マグロ® づくし御膳 3,000円(税込)



❀ かが盛り

- ・近大マグロのお造り 赤身・中トロ 各2貫
- ・近大マグロ スモーク鮪のカルパッチョ
- ・近大マグロ 自家製ツナのマカロニサラダ
- ・近大マグロの角煮
- ・近大マグロの血合いの南蛮漬け
- ・近大マグロの皮の梅肉和え
- ・近大マグロのハンバーグ
- ・近大マグロと長芋の東寺揚げ

- ❀ 近大マグロの握り寿司 赤身・炙り大トロ 各1貫
- ❀ 近大マグロのつみれ汁

■参考資料

■近畿大学

法人名	学校法人 近畿大学
本部所在地	大阪府東大阪市小若江 3-4-1
設立	1925 年
代表者	理事長 清水 由洋 / 学長 塩崎 均
学生生徒数	52,612 人(学園全体)

■近畿大学水産研究所

本部所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町 3153(白浜実験場)
開設	1948 年 ※開設当初は「臨海研究所」
所長	宮下 盛
教職員数	197 人(教員 12 人 / 技術員 163 人 / 事務員 22 人)
主な研究実績	・網いけす式養殖法の開発 ・18 魚種の種苗生産(世界初)に成功 ・クロマグロの完全養殖達成 等

■株式会社アーマリン近大

本部所在地	和歌山県西牟婁郡白浜町 1 番地 5
設立	2003 年 2 月 19 日
代表者	代表取締役 達 浩康
従業員数	22 人
売上	30 億円(平成 25 年度)

■豊田通商株式会社

本社所在地	名古屋市中村区名駅四丁目 9 番 8 号(センチュリー豊田ビル)
設立	1948 年 7 月 1 日
代表者	取締役社長 加留部 淳
資本金	649 億 3 千 6 百万円
従業員数	単体 3,683 人(出向者を含み、受入出向者を除く) 連結 50,423 人

■株式会社ツナドリーム五島

会社名	株式会社ツナドリーム五島
本社所在地	長崎県五島市
設立	2010年
代表者	代表取締役 石山 直良 (豊田通商株式会社 農水事業部長)
資本金・資本剰余金	30百万円
出資比率	豊田通商株式会社 100%
従業員数	15人